

上条

報告

第107号
平成30年4月

甲州市教育委員会
☎32 - 5076

金井加里神社 例大祭

春！ですね。観音堂の桜のつぼみも膨らんできました。

今年も金井加里神社と神部神社の例大祭が行われます。当日は、両神社のお神輿が区内を練り歩き、小田原橋のたもとに開設されるお祭り広場では飲食店の出店もあり賑やかですね。今年はこの例大祭に併せて「上条を活性化する会」により灯籠が設置されました。以前は、道祖神祭りのオコヤの前面に設置している灯籠を使用していましたが、これを見本に新たに灯籠を制作し、観音堂廻りを中心に設置されました。灯籠の絵は子どもたちが、文字は福蔵院様より書いていただいたそうです。夕方暗くなるころからは灯りがつきます。地域の伝統がまたひとつ復活しました！



祭り灯籠の制作





金井加里神社と神部神社の例大祭の歴史的背景

金井加里神社の氏子である下小田原は、重川に沿って上下に長い神部神社の氏子の地域（上萩原、上小田原、中萩原）に挟まれており、神部神社の神輿の渡御ではどうしても下小田原を通過しなければなりません。金井加里神社の領域に進入しようとする神部神社の神輿を金井加里神社の神輿が阻み、神輿の押し合いが次第に過熱し、激しい神輿のぶつかり合いとなっていました。「喧嘩祭り」として近郷一帯にその名が知れ渡るに従い、見物客も多くなったそうです。特に、太平洋戦争の終戦後は、戦地から帰還した若者たちがこぞって神輿を担ぎ、神輿のぶつかり合いがとても激しく行われたそうです。

昭和34年（1959）の台風7号や台風15号（伊勢湾台風）の襲来で神金地区も重川や文珠川の氾濫で大きな被害を受けました。以後、神部神社では例大祭での神輿渡御が休止され、神事のみ行う年が続いたそうです。両神社の神輿が出揃ったのは、平成21年（2009）から24年に実施された神部神社隨身門の修復工事の竣工がきっかけとなり、それを記念して例大祭で神輿渡御が行われました。神輿同士がぶつかり合う「喧嘩」はされませんでした。小田原橋の境界で両神社の神輿が揃い「対面」しました。以後、毎年両神社は3月30日の例大祭に神輿の渡御を行っています。



第18回上条集落見学会を行いました

3月4日（日）に上条集落見学会を開催しました。参加者は5名でしたので、じっくり、ゆったりと上条をご案内できました。すっきりと晴れた青空のもと、気持ちよく上条を歩いていただけました。

